

# ぼうさい



発行 平成18年11月1日 第4号

NPO セーフティネット ぼうさい

〒948-0003

十日町市本町 6-3

連絡先(代表 尾身誠司)

電話 025-752-7353 FAX 025-752-7376

携帯電話 090-1125-6404

E-mail tbk119@jeans.ocn.ne.jp

中越地震から二年

代表理事 尾身誠司

あの大地震から二年がたちました。今日町市は防災に丸となって取り組んでいきます。「十日町地域防災計画」の見直し、自主防災組織の設立。今現在65パーセントに達しようとしています。100パーセントを目指しています。9月から10月にかけて「自主防災組織リーダー研修会」が市内11箇所で開催され500人からの関係者が受講しました。「NPOセーフティネット ぼうさい」で講師を担当し、皆さん真剣に聴講されていました。その後集落(町内)防災会から講話の要請が沢山きています。「十日町断層帯」が気になると思います。「自分の命は自分で、地域は地域でまもる。」を合言葉にさらに防災意識を高めたものに



です。今回は「十日町断層帯」について触れてみたいと思います。

十日町断層帯

十日町断層帯西部

小千谷市から十日町を経て津南町

長さ33キロメートル

最新の活動時期は不明

活動周期は2千年から3千年程度

将来の活動 マグニチュード7.4

今後30年以内に地震の発生する確率1%と推定

十日町断層帯は信濃川を挟み左岸を「西部」右岸を「東部」と言います。おおよその内容を記述すると次のようになります。

## 十日町断層帯

### 十日町断層帯東部

十日町市北部から十日町市南部に至る

長さ19キロメートル

最新の活動時期は 3900 年前から 3600 年前と推定

活動周期は 4 千年から 8 千年程度

将来の活動 M7

今後 30 年以内に地震の発生する確率 0.4~0.7%と推定

### 安心か

十日町断層が動かなければ

過去の記録と予想される地震について触れてみます。

・ 今回の中越地震は六日町断層の北側が動いた可能性がある。

震度6強で大被害を受けた。

・ 昭和36年「新潟地震」

震度5程度で怖い経験をしている。(特に被害はない)

・ 平成13年1月4日

5弱の地震で棚から物が落ちる被害が出た。

・ 平成14年3月から4月

にかけて十日町に震度3

(4回)震度1から2(5回)の群発地震が発生している。

これから予想される近辺の大震災(調査対象)

■ 県内活断層などの地震発生確率(30年以内)		
地震調査委員会の長期評価		
糸魚川-静岡構造線 M8程度		14%
榊形山脈 M6.8~7.5程度		0~7%
長岡平野西縁 M8程度		2%以下
月岡断層帯 M7.3程度		0%~1%
佐渡島北方沖 M7.8程度		3%~6%
十日町断層帯	1%	
信濃川断層帯	0%	
六日町断層帯・高田平野断層帯(調査対象)		

「」のように「」で地震が起

こつても影響がないとはいえない状況におかれています。

東海地震が発生してから1

50年経過し、さらに東南海・南海地震の危険が迫っています。今日本列島は地震の

活動期に入っているといわれています。中越地震を経験した私たちは風化させず後世に

伝え、災害に対して備えを忘れてはなりません。

NPOで「災害情報・安全確認システム」を構築

携帯電話メールを活用した

災害情報を収集し市の対策本部に提供するシステムを研究

しています。震度5強の地震

が発生すると電話はかかりにくくなります。メールは比較的

通信可能です。市内各地に災害情報モニターをお願い

し双方向による情報収集・提供を目指します。皆さんの「

協力をお願いします。

自主防災組織の設立など

「NPOセーフティネットほろさい」がお手伝いします

・ 設立の方法が分からない

・ 町内がいくつにもなっていて難しい

・ 役員に説明が難しい

設立後のアドバイス

・ 町内の皆さんに周知したいので、防災講演会を開催したい

・ 訓練の仕方が分からない

・ 救助・救急など簡単な指導を受けたい

・ 消火訓練を実施したい

会員の募集

「NPOセーフティネット

ほろさい」では随時会員を募集しています。問い合わせ

025-7527353

090-1125-6404

尾身誠司